

平成30年度6月補正予算に係る審議を踏まえた「意見・提言」

1 子育て環境日本一の実現について

周産期医療体制の強化、保育等子育て環境の充実、さらには、ニーズに応じた多様な働き方の実現を図るなど、結婚・出産から就労支援まで一貫した子育て環境づくりに積極的に取り組むこと。

また、児童虐待防止の取組を一層進めること。

2 先進的な防災・減災対策の強化について

府民の安心・安全を確保するため、市町や隣接県と連携し、避難道路の整備を図るなど、原子力防災対策を一層推進すること。

3 いきいきと暮らせる健康づくりについて

関係機関との連携のもと、介護・医療・健診データの分析やデータに基づく市町村や個人々人に対応した健康づくりの支援など、健康長寿の取組を積極的に推進すること。

4 生活の安心と共生社会の実現について

府民の安心・安全の要である警察署・交番等の整備や府民の提案による府民協働型インフラ保全事業を積極的に推進するとともに、堀川団地の再生に当たっては、伝統産業振興や多世代交流など新しい堀川の魅力創造に努めること。

また、女性の起業・経営支援の強化や障害者が働く事業所支援を積極的に進めるなど、共生社会の実現に向けた取組を一層推進すること。

5 学びの安心と次世代の育成等について

府立高校の学習環境や衛生環境の整備に計画的に努めるとともに、募集方法等に留意しながら経済的に困難な府立高校生の留学支援を積極的に行うこと。

6 担い手の確保・育成について

新卒離職者の就職促進や中小企業の事業継続・承継支援、農林水産業の担い手の確保を図るとともに、丹後・知恵のものづくりパークの機能強化事業等により人材育成を推進すること。

7 京都観光の次なる展開と京都ブランドの海外進出強化等について

京野菜や伝統工芸品など、京都産品の海外での販路拡大を図るため、関係機関と連携し、海外進出に向けた取組を積極的に支援すること。

8 文化力による未来づくりについて

地域アートマネージャーを府内全域に配置し、地域の文化活動の支援に一層努めること。

9 スポーツを通じた活力の創造について

事業効果を踏まえつつ、スポーツイベントを通じた府域への観光誘客による地域活性化に取り組むこと。

また、指導者の育成や様々な競技体験プログラムを実施するなど、ジュニアアスリートの育成・強化に一層努めること。

10 次世代環境エネルギーの導入について

未来に向けた新たな環境・エネルギー施策を構築し、積極的に取り組むこと。